

7/10

栃木県警察音楽隊音楽鑑賞会

奥沢小学校創立 150 周年記念



奥沢小学校の創立 150 周年を記念し、栃木県警察音楽隊による音楽鑑賞会が開催されました。

会場となった奥沢小学校の体育館には、児童と教職員のほか、保護者や地域の方々が 50 名以上集まりました。童謡やアニメ映画の主題歌、最新の流行曲などが披露され、演奏に合わせて手拍子をしたり、歌ったり、踊ったりしながら楽しみました。

防犯啓発の寸劇や、パトカーのサイレンを使っでの演奏など、警察音楽隊ならではのパフォーマンスには一際大きな拍手が送られました。

7/10

思いやりの心を育む

親園小学校「盲導犬の出張講演」



公益財団法人東日本盲導犬協会（宇都宮市）主催による、「盲導犬の出張講演」が親園小学校で開催されました。

児童たちは、盲導犬の仕事内容や出会ったときの対応方法、視覚障害者の方をサポートする方法などを学び、将来盲導犬に出会った時に活かせる知識を身に付けることができました。

また、実際に目隠しをして盲導犬と共に歩くことで、視覚障害への理解を深めることができ、貴重な体験となりました。

7/10

将棋東日本大会に出場しました

文部科学大臣杯第20回小・中学校将棋団体戦東日本大会



文部科学大臣杯第 20 回小・中学校将棋団体戦東日本大会の栃木県予選会に優勝した大田原中学校の生徒 3 名（3 年 おおあわ 大牟禮 ゆい 結人 にしはら さん、3 年西原 りく 凜空 かしたや さん、2 年 りょうた 柏谷 りょうた 涼太 りょうた さん）が、市長に結果を報告しました。

7 月 25 日に大手町サンケイプラザ（東京都）にて本大会が開催され、地方予選を勝ち抜いた 20 都道府県の小学校 32 チーム、中学校 32 チームが出場する中、栃木県代表として自分たちのベストを尽くすことができました。

7/11

おいしい「ホタテ」を給食に

無償提供ホタテを学校給食へ活用



ALPS 処理水放出による風評被害で、輸出規制を受けている海産物を学校給食に活用してもらいたいと、県外の水産加工業者から市内全小中学校にホタテの無償提供がありました。川西小学校の給食には「ホタテ入り中華スープ」が提供され、子どもたちからは「おいしい」「もちもちでジューシー」「たくさん入っていた」と声があがり、大勢の児童がおかわりをする様子が見られました。

こうした取り組みは、海に囲まれたわが国の水産業や関係する方々の暮らしを守ることにつながります。

7/16

更なる活躍に向けて

宇都宮ブルックスが表敬訪問



プロバスケットボールチーム「宇都宮ブルックス」の藤本 光正 代表取締役社長が市役所を訪れ、市長にB.LEAGUE2023-24シーズンの結果報告を行いました。

宇都宮ブルックスは昨シーズン、60戦中21連勝を含む51勝、過去最高の85%の勝率で、B1東地区で優勝を収めました。

CHAMPIONSHIPは惜しくもクォーターファイナルで敗退してしまいましたが、今シーズンも変更なく最強のメンバーで迎えられるということで、更なる活躍に期待が膨らみます。

7/23

出産・子育ての希望をかなえるために

日本フェルト株式会社からの寄附



日本フェルト株式会社(本社:東京都北区)から令和3年度より4回目となる、企業版ふるさと納税による寄附をいただきました。

日本フェルト株式会社は、大田原市寒井に栃木工場を置き、同工場において地元採用を積極的に行っています。

今回の寄附は、「不妊治療費補助金交付事業」と「新生児聴覚検査費助成事業」へ充当し、子どもを産み、育てることの不安解消、経済負担の軽減を図り、本市の出生率の向上につなげるために活用させていただきます。

7/28

遊び！学び！仲間づくり！

おおたわら子どもフェスティバル



大田原市子供会育成会連絡協議会主催で、元気な子どもたちの育成を目的として、今年度から新たに開催しました。会場では、自由な発想力で自分だけの作品を作り上げる「箱庭づくり」や、「見て・聴いて・体験して学ぶ」理科実験教室、大田原警察署による「歩行者模擬横断教育装置」などを用いての交通安全体験ブースなど多彩な催し物を行いました。

来年も多くの子どもたちが来場し、夏休みの良い思い出作りの場となるよう企画・運営していきます。

7/29

地域の歴史を伝える

日本遺産認定継続決定



市では、平成30年に那須塩原市・矢板市・那須町と共に、文化庁から「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」として「日本遺産」の認定を受け、さまざまな情報発信、普及啓発事業などを通して魅力の向上を目指してきました。

その活動内容が評価され、7月23日付けで認定継続が決定されました。

市内では「西郷神社」や「那須基線南端点」など7か所が登録されています。

これからも地域の歴史を伝えていきます。

8/1

空手ワールドカップに出場します IBKO 第2回ワールドカップ型



7月7日に行われた、外務省後援 IBKO（国際武道空手道連盟）第2回ワールドカップ型 選抜指定大会 第7回東日本型 大会において優勝した市野沢小学校5年 船山 結菜 さんと若草中学校1年 八木沢 実琴 さんが、市長に結果を報告しました。

船山さんと八木沢さんは、11月23日に国立代々木競技場第二体育館（東京都）で行われる本大会に出場することになり、市長の前で改めてワールドカップでの活躍を誓いました。

8/5

ご支援ありがとうございました 花火大会への寄付



大田原市区長連絡協議会では、市内各地で開催される花火大会を支援するため、市民の皆さまに善意の寄付を呼びかけました。

皆さまからお寄せいただいた寄付金は、「佐久山納涼花火大会」、「くろばね夏まつり市民花火大会」の各実行委員会に渡されました。

皆さまからのご支援ありがとうございました。

問 大田原市区長連絡協議会事務局（政策推進課内）

TEL 0287-23-8715

市史編さんだより vol.47

6月29日、那須与一伝承館多目的ホールで、令和6年度大田原市史セミナー（第4回大田原市史編さん調査報告会）を開催しました。この報告会は、市史編さん事業の中で進めている各専門部会による調査の成果を、広く皆さまに知っていただくための普及事業です。内容は以下のとおりです。

▶講演1「市内の田んぼや水路に住むさまざまな生き物たち」小川 浩昭 氏（自然部会委員）

▶講演2「その時、くらしは変わった！～写真で読み解くおたわら～」筒江 薫 氏（民俗部会委員）

まず講演1では、小川氏が、市内の水田や水路を取り上げ、農業などの人の営みと自然環境との関わりに触れたうえで、『大田原市の自然』（令和5年刊）に係る生き物調査で見つかったさまざまな生き物たちの種類や生態について紹介しました。

続く講演2では、筒江氏が、『大田原市の民俗』（令和6年刊）での取材で明らかになった本市の養蚕業、葉煙草やとうがらし栽培などの隆盛と稲作の台頭を、当時の写真をふんだんに使いながら解説しました。

今回のセミナーでは、両講演とも「自然と農業との共鳴」をテーマにしており、互いの内容が関連していたため、来場者は、自然と人との共生について深く理解することができたのではないのでしょうか。当日は市内外から約60名が参加し、アンケートには、「生態系について勉強になった」「昔を懐かしく思い出した」という声が多く寄せられました。今回のお二人が執筆に加わった『大田原市の自然』『大田原市の民俗』『大田原市史研究 第4号』などは、現在販売中です。詳細は市HPをご覧ください。

（市史編さん事務局）



問 文化振興課 A別館2階 TEL 0287-47-5031

普及事業報告⑥ ～大田原市史セミナーの開催～



小川 浩昭 氏



筒江 薫 氏